

『地域とともにある学校』  
魅力ある学校づくりを目指して

<校 訓>  
樹の如く伸びよ 星の如く輝け  
<学校教育目標>  
自律する人間 共創する人間 錬磨する人間

2020/05/11 (月) 発行  
校長通信 NO 2  
北海道日高高等学校  
谷 尊 仁

一日も早く生徒の笑顔と  
元気な声を・・・

全国に「緊急事態宣言」の延長が出されて学校も5/31(日)まで休業ということになりました。

1年生においては、4月に入学してから日高高校生として、本来の学校生活を送ることができず、戸惑っていることでしょう。2・3年生においても、例年とは違い、この一ヶ月間のほとんどを寮で過ごす「ステイ・ドミトリー(寮)」でした。そのような、ある意味不自由な生活を我慢して、頑張ってくれた成果があって、現在のところ新型コロナウイルスに感染および感染疑いの生徒はいません。

基本的な生活習慣の定着と学力の定着のために、毎日、先生方が用意してくれた課題を寮の部屋で取り組んでくれています。学校の教室でクラスメイトとともに、いろいろな知識を学び、その知識を元にいろいろなことを考えて、理解していく楽しさをもとに分かち合えるような、そんな学校生活を1日も早く取り戻せたらと思います。

しかし、今のような状況では、まず自分の「命」を守ることが最優先です。「小まめなうがい・手洗い」「3密(密閉、密集、密接)を避ける」「マスクの着用」などまず自分の身を守ることを確実に実行しましょう。そしてそのことは、他人の「命」を守ることであります。

学校生活が再開したとしても、新型コロナウイルスの感染拡大防止は必要です。

自分の「命」や大切な人の「命」を守ることを考えた行動をすることが大切です。



感謝と自分の未来

新型コロナウイルスの感染拡大している中で、医療従事者の皆さんは、自身の危険を顧みずに昼夜を問わず、賢明に対応してくれています。

「病院で自分が感染するかも…」「自分が感染したら家族も感染するかも…」といった不安の中で、医療行為を続けてくださっています。

そういった方々やその家族に対して、まるで病原菌のような言い方で誹謗中傷したり、差別的な対応をする人たちがいるとニュースで報じられていることについて、どう考えますか？

ひとりでも多くの人命を救うという使命感から昼夜を問わず、体調の悪い人の治療にあたってくれているということに感謝と尊敬の気持ちしかありません。

自分で選んだ仕事だと言ってしまうと、それまでかもしれませんが、自分の仕事を成し遂げようとするのは、そう簡単なことではありません。

生徒の皆さんは、自分の将来をどのように考えていますか。今はまだ、漠然としか考えていないかもしれませんが、将来の自分の姿を考えてみませんか。自分が選んだ仕事に責任を持って取り組んでいる自分の姿を思い描いてみてください。

それを現実のものとするためには、今何をしなければならいかが見えてくると思います。

頭でわかっている、行動することが大切です。無駄な努力はないと思います。頑張ったことは、いつか必ず自分を助けてくれます。そして、自分ことだけでなく周りの人たちのことも考えられる。そんな人間になってもらいたいと思います。

「成功は決して偶然ではない。勤勉、忍耐、知識、学び、犠牲、そして何よりも自分が取り組んでいることへの愛情が必要だ。」ペレ(元サッカー選手、サッカーの王様と称される)

